

平成29年度 総務常任委員会管外視察の概要

- 視察期間 平成29年10月17日（火）～19日（木）
- 視察者 総務常任委員（6名）
増永慎一郎（委員長）、西 聖一（副委員長）、岩中伸司、
河津修司、中村亮彦、松野明美
- 視察先
- （1）阿蘇くまもと空港（益城町）
 - （2）仙台国際空港（宮城県名取市）
 - （3）三陸鉄道株式会社（岩手県宮古市）
 - （4）震災メモリアルパーク中の浜（岩手県宮古市）
 - （5）震災学習列車（岩手県久慈市～田野畑村）
 - （6）青森県庁（青森県青森市）
- 視察目的 東日本大震災で被災した仙台国際空港及び三陸鉄道の復旧・復興状況、仙台国際空港の民営化の実施状況及び青森県庁舎の耐震・長寿命化改修等を調査し、今後の委員会審議の参考とする。

■視察の概要

(1)阿蘇くまもと空港

阿蘇くまもと空港は、阿蘇外輪山台地の西端の高遊原台地にある、1971年に開港された国管理空港です。空港ターミナルビルは、5次にわたる増改築工事が行われてきており、当初建設から約50年が経過しようとしています。昨年の熊本地震で被災しましたが、関係者の懸命な努力により、空港閉鎖は3日間で済みました。

熊本空港ビルディング株式会社から、熊本地震による施設被害状況・復旧状況等及びコンセッション方式導入について説明を受け、意見交換を行いました。



(2)仙台国際空港

仙台国際空港は、宮城県名取市にある年間300万人超が利用する国際空港で、昨年7月に日本初となる空港運営権売却（コンセッション）により民営化されました。現在、国内では神戸や高松、福岡などの空港で民営化の議論が進んでいます。

宮城県土木部空港臨空地域課及び仙台国際空港株式会社から、東日本大震災からの復興状況、空港民営化の取組状況及び県の取組状況等について説明を受け、意見交換

を行うとともに、空港施設の視察を行いました。



(3) 三陸鉄道株式会社

三陸鉄道株式会社は、岩手県宮古市にある第3セクターで、昭和59年に設立され、三陸鉄道（北リアス線71.0km、南リアス線36.6km）の運行を行っています。東日本大震災では、鉄道施設や駅舎に甚大な被害を受けましたが、平成26年4月に全線運行再開を果たしています。

三陸鉄道株式会社から、東日本大震災に係る被災・復興状況や県の支援状況、現在の取り組み状況等について説明を受け、意見交換を行うとともに、みやこ駅舎の視察を行いました。



(4) 震災メモリアルパーク中の浜

震災メモリアルパーク中の浜は、岩手県宮古市にある国立公園内の施設で、東日本大震災で被災したキャンプ場を震災遺構として環境省が整備したものです。

休暇村陸中宮古の施設ガイドから、東日本大震災の震災遺構としての公園施設の概要等について説明を受け、施設を見学した後、意見交換を行いました。



(5) 震災学習列車

震災学習列車は、三陸鉄道が東日本大震災の記憶を伝承するために運行する臨時列車で、北リアス線、南リアス線の両方で運行されています。

乗車した北リアス線（田野畑駅～久慈駅）で、三陸鉄道社員から、三陸鉄道施設や沿線の被災状況及び復興状況等について説明を受け、意見交換を行いました。



(6) 青森県庁

青森県庁舎（南棟、東棟、議会棟）は、青森県青森市にある庁舎で、昭和35年12月に建設され、築後56年が経過しています。青森県では、全庁をあげて建築物のファシリティマネジメントに取り組んできており、現在、南棟、東棟、議会棟の耐震・長寿命化改修を行っているところです。

青森県総務部行政経営管理課から、耐震・長寿命化改修工事の概要等について説明を受け、意見交換を行うとともに、庁舎の視察を行いました。

